

物流連から「物流環境大賞」を受賞

センコー株式会社（社長：福田 泰久、以下「センコー」）と九州センコーロジ株式会社（社長：黒木一仁、以下「九州センコーロジ」）は、一般社団法人 日本物流団体連合会（会長：田村修二、以下「物流連」）から物流環境大賞を受賞しました。

物流環境大賞は、2000年6月に創設され、優れた環境保全活動や環境啓蒙活動、あるいは先駆的な技術開発などで、物流業界の発展に貢献された企業などを表彰する制度で、今回が19回目の表彰です。

大賞を受賞したのは、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社様（社長：吉松 民雄）、センコー、九州センコーロジの3社で取り組んだ「飲料製品の九州と関西間の幹線トラック輸送を鉄道輸送に切り替えたモーダルシフト」で、これにより大幅な環境負荷低減と物流効率化を実現したことが評価されたものです。

さらに、センコーは、「フタムラ化学株式会社様のプラスチックフィルムを大型トラック幹線輸送から鉄道輸送へのモーダルシフト」、「株式会社ADEKA様およびADEKA物流株式会社様の加工油脂を長距離トラック輸送からフェリー船輸送へのモーダルシフト」、「日本ノボパン工業株式会社様のパーティクルボードを幹線輸送大型化に合わせた船舶へのモーダルシフト」の3件についても、物流環境特別賞を受賞しました。

センコーグループでは、今後もモーダルシフトの推進をさらに強化し、環境負荷の低減と物流効率化の実現に積極的に取り組んでいく考えです。



※2018年6月29日に行われた授賞式。写真右からセンコー(株) 嘉永良樹副社長、

一般社団法人 日本物流団体連合会の田村修二会長、コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)

SCM 本部 ウエスト製品物流グループ統括部 石原雅司統括部長、九州センコーロジ(株) 黒木一仁社長

以上